

Alma/ブローカー統合の設定

Note

このページでは、Almaとブローカーの統合のための設定について説明します。リソースシェアのためのアイテムの検索、リソースシェアパートナーとの連携、借入および貸出リクエストの管理、リソースシェアディレクトリへの投稿など、リソースシェアの詳細については、[リソースシェア](#)を参照してください。

ブローカーとの統合を可能にするためにAlmaで発動させる必要がある設定を以下に示します。

1. リソースシェア図書館とカレンダー管理設定を定義して、貸与の期日を決定します ([機関とその図書館の設定](#)を参照)。

また、利用規約とポリシーを設定して、延滞の罰金がいつ発動されるかを決定することもできます ([冊子フルフィルメント](#)を参照)。

2. 必要に応じて、リソースシェア図書館の物理的なロケーションを設定します ([物理的なロケーション](#)の設定を参照)。設定：ドロップダウンリストでリソースシェア図書館を選択していることを確認します。

Note

通常、必要な貸出・返却受付は1つだけです。ただし、受け取りロケーションが複数ある場合は、複数の貸出・返却受付が必要です。その場合、貸出・返却受付を異なる物理的なロケーションにリンクする必要があります。Almaユーザー役職を介して、さまざまなユーザーをさまざまな貸出・返却受付に割り当てることもできます ([ユーザー役職の管理](#)を参照)。

3. 貸出・返却受付を設定します ([貸出・返却受付の設定](#)を参照)。

ウィザードの最初のページ (貸出・返却受付 - 一般情報) :

- (機関によって特に指定されていない限り) 印刷情報セクションは空白のままにします。
- ユーザーは、コレクトアイテムにあるドキュメント配送のための独立した取り置き棚がある場合、取り置き棚情報セクションでは、取り置き棚ありを選択します。それ以外の場合は、このオプションを選択しないでください。

ウィザードの2番目のページ (貸出・返却受付 - 物理的なロケーション) で、ステップ2で設定した物理的なロケーションを追加します。

4. リソースシェア図書館と機関内の他の図書館との関係を設定します ([機関内の図書館間のフルフィルメントサービスの設定](#)を参照)。
5. [フルフィルメント設定]メニュー ([設定メニュー]>[フルフィルメント]) で、設定：ドロップダウン値を図書館から機関に変更します。
6. インスタンスのリソースシェアリンクが表示されるインスタンスを定義する表示ロジックルールを設定します ([表示ロジックルールの設定](#)を参照)。

- 必要に応じて、取寄せリクエストのためにAlmaで手動で実行されるアクティビティを設定します ([ワークフローロファイルの設定](#)を参照)。通常、ブローカーは必要なすべてのステップを自動的に処理するため、これは必要ない場合があります。
- リソース共有パートナーを設定して、Almaとブローカー間の通信のタイプを定義します ([リソース共有パートナー](#)を参照)。

リソース共有パートナーを設定するときは、次のようにパラメータが設定されていることを確認してください。

一般情報タブで：

- プロファイルタイプ：NCIP (Librisの場合は、[外部システムからのリソースシェア取寄せリクエストのインポート](#)を参照)
- システムタイプ：<Broker Name> ILL

パラメータタブで：

一般情報セクションで：

- ユーザー識別子タイプ：ブローカーがメッセージ内のユーザーを識別するために使用するIDのタイプを選択します (Relaisの場合、プライマリ識別子を選択)。

Note

ブローカー構成でプライマリID以外の識別子 (例：バーコード) が選択されていて、ユーザーが選択された識別子を持っていない場合、リクエストはユーザー識別子なしでブローカーに送信されます。[追加のユーザー識別子の種類の表示](#)を参照してください。

-
- プッシュ方法のリクエスト：**OpenURL**またはリンク (Relaisの場合は**OpenURL**を選択)
 - URL**テンプレート：
 - ユーザーがPrimo **GetIt**リンクを使用してブローカーシステムにリクエストを送信するときに、Almaがブローカーシステムへのリンクに使用するOpenURLのURLまたはベースURL。Relaisの場合https://h7.relais-host.com/xxxx/loginpRFT.jsp?LS=XXXXxxxxxおよびXXXXは、Relaisシステムで図書館を識別するためのコードです。
 - ユーザーの自動ログインを**URL**に追加します。Relaisの場合：はい
 - ゲストユーザーのサービスを有効にします：使用中のポリシーによって異なります。通常、値は**No**です
 - 次の場合にサービスを無効にします：サービスを無効にするパラメータ
 - 貸与期間：ユーザーがアイテムをリソースシェア図書館に戻す必要があるまでの時間
 - デフォルトの**図書館所有者**：ブローカーのリクエストを所有するリソースシェア図書館

リクエストアイテムセクション：

- 書誌レコードIDタイプ：other_system_number
- 取寄せをサポート：ほとんどのブローカーシステムは、貸出リクエストのみに**RequestItem**メッセージを送信します。取寄せリクエストが作成される際にブローカーシステムが**RequestItem**メッセージを送信する場合は、このオプションを選択します。選択した場合は、次も入力します。
 - デフォルトロケーション：取寄せリクエストの一時アイテムが作成される物理的ロケーション。
 - デフォルト受取場所：メッセージでブローカーシステムによって示されていない場合の取寄せ利用者のリク

エストのデフォルト受取場所。

RequestItemメッセージがAlmaによって受信された場合、システムは**Userld**のためにブローカーシステムにより示された**Agencyld**に基づいて、それが取寄せリクエストまたは貸出リクエストであるかを決定します。それが**InitiationHeader**の**Agencyld**と同じものである場合、次にAlmaはそのメッセージを取寄せ利用者のリクエストとして認識します。

チェックアウトアイテムセクション（貸出側でチェックアウトされるアイテムの管理方法を定義）：

- 。 デフォルトのロケーション：受け取った一時的なアイテムが属する物理的なロケーション
- 。 デフォルトのアイテムポリシー：作成されたアイテムポリシー

アイテムの受け入れセクション（借入側で受け取ったアイテムの管理方法を定義）：

- 。 デフォルトのロケーション：リソースシェア図書館用に作成された物理的なロケーション
- 。 自動受け取り：ブローカーで受け取ったアイテムがAlmaで受け取ったと見なされる場合に選択します（そして自動的に置き置き棚に置かれる）。空白のままにしておく、Almaでアイテムを置き置き棚に置くために別のワンドインアクションが必要になります。

ブローカーシステムがメッセージでAlmaで使用されるバーコードを通信できるかを選択します。

- 。 受け取り受付：自動受け取りが選択されている場合、このパラメータは、ブローカーシステムからアップデートされたときに受け取りアクションが実行されたと見なされる受付を定義します。

ユーザーの検索セクションで：

- 。 認証が必要：いいえ

9. 利用規約を定義します（[冊子フルフィルメント](#)を参照）。設定：ドロップダウンにリソースシェア図書館が表示されていることを確認します。次の使用条件を定義する必要があります。

- 。 貸与
- 。 リクエスト
- 。 リソースシェアの取寄せ：リソースシェアリクエストの許可=リソースシェアの許可を確認して、Primoからブローカーのシステムへのリソースシェアリンクを表示できるようにします。この利用規約は、取寄せリクエストからアイテムを受け取ったときに特定のユーザーグループに請求される手数料を設定するためにも使用されません。

10. フルフィルメントユニットを定義します（[冊子フルフィルメント](#)を参照）。設定：ドロップダウンにリソースシェア図書館が表示されていることを確認します。

11. z39.50サーバー統合プロフィールを定義します（[統合プロフィールの設定](#)を参照）。

ブローカーとAlma間の通信の設定

Almaとブローカー間の通信に使用されるURLは次のとおりです。

- ILLiad, OCLC Navigator, Relais: <https://<Alma domain>/view/NCIPServlet>
- INN-Reach: <https://<Alma domain>/view/NCIPServlet/v1>

ブローカーのシステムの設定の詳細については、ブローカーのサポートチームにお問い合わせください。